

大東中学校運営支援協議会会議録

1 会議名 令和7年度第1回大東中学校運営支援協議会

2 開催日時 令和7年5月23日(金)14時30分～16時30分

3 開催場所 大東中学校多目的教室

4 出席者

(1) 委員 藤原良治(会長)、谷口吉郎(副会長)、菊池文悦、小島公義、小山充、伊東俊一
及川隆志、佐藤博昭、佐藤福、松田恵美子、柏原厚子、及川光正、佐藤恵子

(2) 事務局

菅原 正浩(校長)、石川純(副校長)

5 会長、副会長の選出

令和7年度大東中学校運営支援協議会委員について

・協議会長および副会長の選出。会長は藤原良治氏、副会長は谷口吉郎氏

6 協議

(1) 大東中学校運営支援協議会について

資料に基づき説明を行った。

質疑応答なし。

※大東中学校運営支援協議会について、承認を得た。

(2) 令和7年度学校経営方針と「大東中まなびフェスト」について

資料に基づき説明を行った。以下、質疑応答

委員 小中連携を行うとあるが、高校との連携はあるのか。

事務局 大東高校生が中学校にきて交流する機会を6月に予定している。大東高校の鹿踊り部やバスケットボール部の実演なども予定していて、大東高校の魅力を伝える場になればと考えている。

※令和7年度学校経営方針と「大東中まなびフェスト」について、承認を得た。

(3) その他

委員 職場体験の状況は？

事務局 地域と連携して実施しているが、訪問先を確保するのはなかなか大変である。

7 情報交換

(1) 学年・生徒の状況について 資料に基づき説明を行った。以下質疑応答。

委員 地域との連携で、現在のボランティア人材の状況は？

委員 家庭科は5人、読み聞かせは3人お願いできる方がいる。

委員 部活動の地域移行について。現在、どのような状況か？

事務局 休日型と全日型とがある。移行はだいぶ進んできている。部活動が5時に終わり、そのまま育成会練習を継続して行う形もある。学校の部活動顧問が土日の練習や大会に行くこともあり、全部を地域に任せている状況ではなく、時期や状況に応じて連携している。

委員 部活動を地域に全て下ろしたら、チームが学校単位じゃなくなることも考えられるか。

事務局 今の状況ではまだ何とも言えないが、そうなる可能性はある。

個人競技は学校として出られるが、人数が減ってきている中でチームを組むとしたとき、学校の枠を取り払いチームを組む必要が出てくる。

中体連の大会にクラブチームも出られるようになってきている。その数が年々増えてきている。

委員 文科省、行政は、地域移行を推進していくと言っているの、地域移行はますます進んでいくようですね。

(2) 熟 議

テーマ【大東・大原水かけまつりの中学生の参加について】

昨年度の水かけまつりの参加状況や取り組み状況を説明。生徒の参加募集に苦慮しており、生徒数の減もあり従来通りで生徒を集めるのは難しくなっていること。また、大原地区の生徒の参加が少なく、昨年度は育成会の働きかけによる参加に助けられたこと。さらに、昨年参加した生徒のアンケート結果から、生徒が感じている生の声を伝えた。

その後、生徒の参加体制と保護者の協力について、テーマを絞って協議した。

委員 アンケート結果の「参加してよかった」と答えた生徒の意見をアピールしてほしい。

面白かったということの次の代に伝えていかないと。参加したら面白いというような分かりやすいデータがあれば、興味を持ってもらえる。

委員 子供たちは様々だから、中にはもう参加したくない生徒もいる。大きなお祭りは、運営する側としても無理が生じているので規模を縮小するなど考えていかなければならない。

事務局 広く募集すればやりたい子もいるが親の協力を得られず断念した子もいた。もっと中学校で、出たい子を募るような体制ができればよいが、生徒数も少なくなっているし難しいところではある。

委員 大原水かけまつりだけではなく、他の地域のお祭りもあるので、中学校としては大原だけでなくバランスを考えて、強制ではなくあくまで協力を促す形をとったのではないかな。

事務局 問題点として、当日の開始時間が早く、待ち時間なども長いと感じる。

委員 待っている時間がとても長いので考えるべき。開始時間も早し、検討していく必要がある。

委員 生徒たちは、地域行事に参加し達成感を感じ、多くは良かったと思っている。その子供たちの声を前面に出して伝えていければよいと思う。

委員 保存会の人たちに話して、笛とかを事前に練習できる体制をとるべき。小学校では貸し出している。中学校で練習できれば効率が良い。帰りの迎えは必要になるだろうが。

委員 動画などを配信して全容を伝えて知ってもらうことが必要。

委員 県の無形文化財など、魅力と価値をきちんと示し、伝えていく必要がある。

委員 様々な意見が出された。時期・場所・方法を詰めて保存会と折衝して、検討していく段取りを組んでいければよい。

事務局 学校とすれば、水かけ祭りの魅力を伝えるための講話などを検討し、生徒への呼びかけを行っていききたい。